電子マニュアルの読み方

Windowsをお使いの場合

1. CD-ROM「LPV3シリーズユーティリティCD」をパソコンにセットします。
   ※Windows 7/Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[LAUNCHER.exeの実行]をクリックしてください。
   また、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。
2. [マニュアルを見る]を選択し、[実行]を選択します。
3. 「有線プリントサーバ(LPV3-U2S)」を選択し、[OK]をクリックします。
4. 「LPV3-U2Sユーザーズマニュアル」を選択し、[OK]をクリックします。

Macintoshをお使いの場合

1. CD-ROM「LPV3シリーズユーティリティCD」をパソコンにセットします。
2. デスクトップに表示されたCD-ROMアイコンをダブルクリックします。
3. [Manual]フォルダをダブルクリックします。
4. [LPV3-U2S]フォルダをダブルクリックします。
5. 「lpv3u2s.pdf」をダブルクリックします。

各部の名称とはたらき

POWER(緑)/USB(緑)/LAN(緑)ランプ
3つのランプで本製品の状態が表示されます。

POWER	USB	LAN	状態
消灯	消灯	消灯	電源OFF
点灯	消灯	点灯	電源ON、プリンター未接続
点灯	消灯	消灯	電源ON、プリンター/LAN未接続
点灯	点灯	点灯	電源ON、印刷可能
点灯	点滅	点滅	電源ON、印刷中
点灯	点灯	点滅	電源ON、LAN側送受信中

DCコネクター
付属のACアダプターを接続します。

INIT(出荷時設定)スイッチ
本製品を出荷時設定に戻すときに3秒以上押します。

LANポート
LANケーブルを接続します。

おもな工場出荷時設定

設定項目			設定値
基本	パス		¥¥PU-xxxxxx¥P1
	プリントサーバー名		PU-xxxxxx
	管理ユーザー名		root(変更不可)
	管理パスワード		未設定
	ポート名		P1
プロトコル	TCP/IP	IPアドレス	自動取得
	AppleTalk	AppleTalk Zone	*
		プリンターオブジェクトタイプ	LaserWriter
		PostScriptレベル	Level2
		フォントグループ	Standard35
	NetBEUI	ワークグループ	WORKGROUP
	SNMP (RFC1155/1157)	SysContact名	未設定
		SysLocation名	未設定
		コミュニティ	public

※xxxxxxはMACアドレスの下6桁です。MACアドレスは、本製品の底面に印刷されています。

仕様

※最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

おもな仕様

LANインターフェース	規格	IEEE802.3u(100BASE-TX)、IEEE802.3(10BASE-T)
	伝送速度	100/10Mbps
	伝送路符号化形式	4B5B、MLT-3(100BASE-TX) マンチェスターコーディング(10BASE-T)
	アクセス方式	CSMA/CD
	ポート	100BASE-TX/10BASE-T兼用ポート×1 (AUTO-MDIX対応)
	コネクター	RJ-45型8極コネクター×1
プリンタインターフェース	規格	USB Revision 2.0
	コネクター	USB Aコネクター×1
消費電力/消費電流		最大3.35W(5V) / 最大670mA
動作環境		温度:0〜40℃　湿度:20〜80%(結露なきこと)
外形寸法/重量		82(W)×29(H)×60(D)mm / 75g(ACアダプターを含まず)

対応プロトコル(モード)/OS

プロトコル(モード)	OS
双方向通信モード	Windows 7(32bit)/Vista(32bit)/XP/2000
TCP/IP	Windows 7(32bit/64bit)/Vista(32bit/64bit)/XP/2000 Windows Me/98/95/NT4.0、 MacOS X 10.0.4〜10.3.9、UNIX
NetBEUI	Windows 2000/Me/98/95/NT4.0
AppleTalk (EtherTalk)	MacOS 8.6、MacOS 9.0.4〜9.2.2、MacOS X 10.0〜10.5
Bonjour	MacOS X 10.4/10.5/10.6
Rendezvous	MacOS X 10.2.0〜10.3.9
IPP	Windows 7(32bit/64bit)/Vista(32bit/64bit)/XP/2000

※「LPV3マネージャ」は、MacOSおよびUNIXには対応していません。
※「LPV3ダイレクト接続マネージャ」は、Windows 7(32bit)/Vista(32bit)/XP/2000のみ対応です。

対応プリンター

USB2.0/USB1.1に対応したプリンター。

※プリンターは、1台だけ接続できます。
※USBパラレル変換ケーブルを使用して、プリンターを接続することはできません。
※Macintoshで使用する場合は、PostScriptプリンターのみ対応です。
※WPS(Windows Printing System)プリンターには対応していません。
※複合機能搭載プリンターを接続した場合、プリンター機能およびスキャナー機能のみ使用できます(Windows 7(32bit)/Vista(32bit)/XP/2000のみ)。
その他の機能(カードリーダー、FAXなど)は使用することはできません。
※双方向対応プリンターの双方向通信モードは、Windows 7(32bit)/Vista(32bit)/XP/2000の場合のみお使いいただけます。双方向通信で動作確認済みのプリンター・複合機は、弊社ホームページ(buffalo.jp)をご覧ください。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

かんたん設定ガイド
2009年 11月 30日 第5版 発行 株式会社バッファロー

BUFFALO　35005152　ver.05　5-01　C10-015

LPV3-U2S マニュアル かんたん設定ガイド

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

はじめに

本紙では、ネットワーク上のWindows 7(32bit)/Vista(32bit)/XP/2000搭載パソコンから、本製品に接続されたプリンターに印刷する方法を説明します。

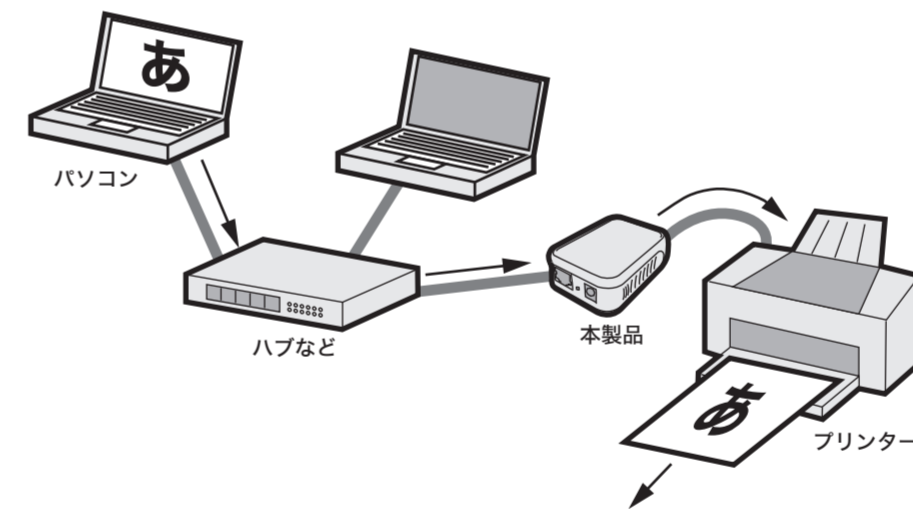
※Windows 7(64bit)/Vista(64bit)/Me/98/95/NT4.0、MacOS、UNIXを搭載したパソコンで本製品の設定や印刷をする場合は、付属CDに収録されている電子マニュアルを参照してください(本紙「電子マニュアルの読み方」(P.4)参照)。
※NBT(NetBIOS over TCP/IP)/LPR(TCP/IP)/ NetBEUI / AppleTalkプロトコルを使って印刷する場合は、電子マニュアルを参照してください。
※本製品を使用する前に、ネットワーク上のパソコン間で正常に通信できることを確認してください。各ネットワーク機器(LANアダプター、ルーターや無線親機など)の使い方については、各機器のマニュアルを参照してください。

本製品について

特長

本製品は、USB2.0/USB1.1に対応したプリンターを1台接続できるプリントサーバーです。
本製品の特長は、次のとおりです。
・AutoNegotiation対応の100/10MbpsLANポートを1つ搭載。
・DHCPに対応。
・付属ソフト「LPV3マネージャ」およびWebブラウザーで設定が可能。
・双方向プリンター対応(Windows 7(32bit)/Vista(32bit)/XP/2000のみ)。
※以下は、LPV3ダイレクト接続マネージャを使用しない場合の特長です。
・TCP/IP(NBT、LPR)、NetBEUI、AppleTalkおよびBonjour/Rendezvousに対応。
・SNMPv1(MIB2、EnterpriseMIB)に対応。
・IPP(Internet Printing Protocol)に対応。

接続例

下図のように本製品をネットワークに接続し、プリンターを共有することができます。

プリントサーバーを使えるようにしよう

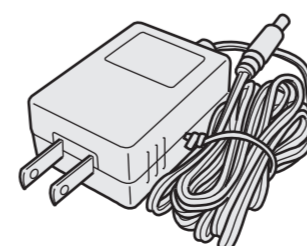
ステップ1 箱に入っているものを確認しよう

万がいち、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

□プリントサーバー(本体)……………… 1個

□LPV3シリーズユーティリティCD… 1枚

□ACアダプター……………………………1個

□USBケーブル…………………………… 1本

□かんたん設定ガイド(本紙)…………… 1枚

□安全にお使いいただくために必ずお読みください(保証書付き)………… 1枚

※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

ステップ2へつづく

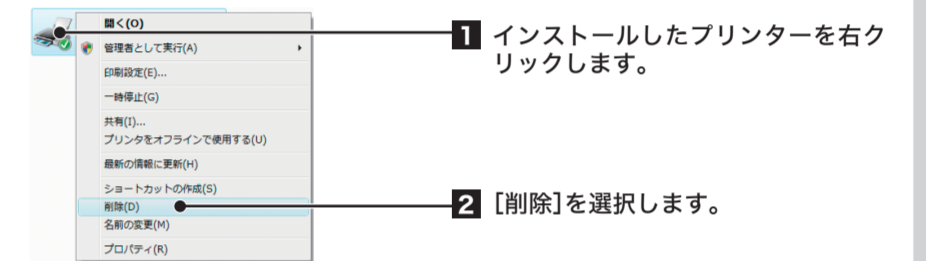
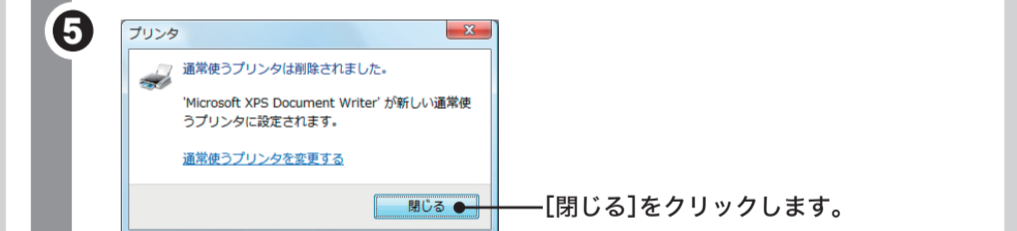
ステップ2 セットアップしよう

Windows 7(32bit)/Vista(32bit)/XP/2000搭載パソコンから本製品に接続されたプリンターに印刷する場合は、次の手順でセットアップを行ってください。
Windows 7(64bit)/Vista(64bit)/Me/98/95/NT4.0をお使いの方は、LPV3シリーズユーティリティCD内の「ユーザーズマニュアル」の「第1章 Windowsで印刷する」を参照してください。

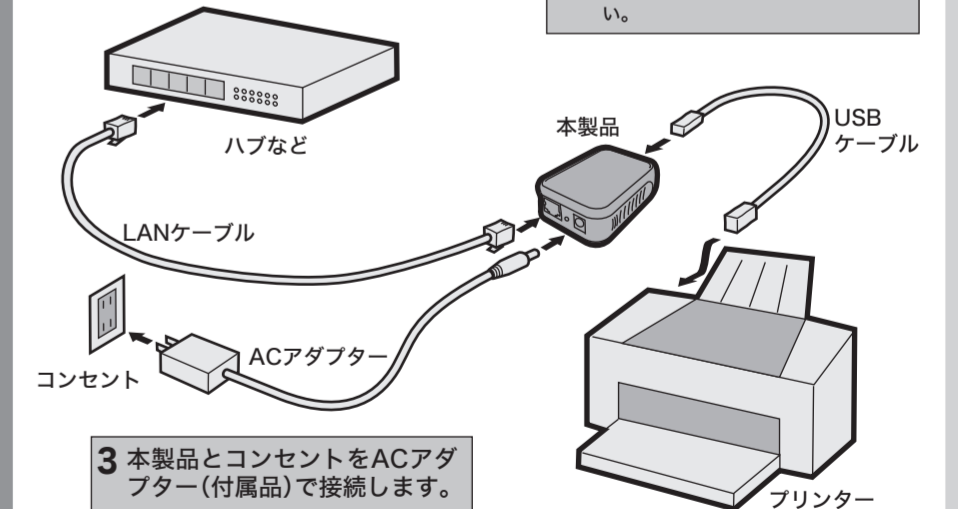
1. **プリンターのマニュアルを参照して、プリンターのドライバーをインストールします。**
   ここでは、プリンターがパソコンのプリンターポート(LPT1)に接続されているもの(ローカルプリンター)として、プリンタードライバーをインストールしてください。
   また、インストールの途中で「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」などのチェック項目がある場合は、チェックマークを外してください。
2. **プリンターの管理画面を表示します。**
   Windows 7(32bit)/Vista(32bit)の場合は、[スタート]－[コントロールパネル]を選択し、[(デバイスと)プリンター]をクリックします。
   Windows XPの場合は、[スタート]－[プリンタとFAX]を選択します。
   Windows 2000の場合は、[スタート]－[設定]－[プリンタ]を選択します。
3. **インストールしたプリンターのドライバーを、一度削除します。**

4.

[はい]をクリックします。

5.

[閉じる]をクリックします。

6. 本製品を、プリンターとネットワークに接続します。

1 本製品とネットワーク(ルーターやハブなど)をLANケーブル(別売)で接続します。

2 本製品とプリンターを付属のUSBケーブルで接続します。
※USBハブを使用しないで、本製品とプリンターを直接接続してください。

3 本製品とコンセントをACアダプター(付属品)で接続します。

4 すべての接続を終えると、本製品のPOWERランプ(緑)、USBランプ(緑)、LANランプ(緑)が点灯した状態になります。

POWER(緑)/USB(緑)/LAN(緑)ランプ
3つのランプで本製品の状態が表示されます。

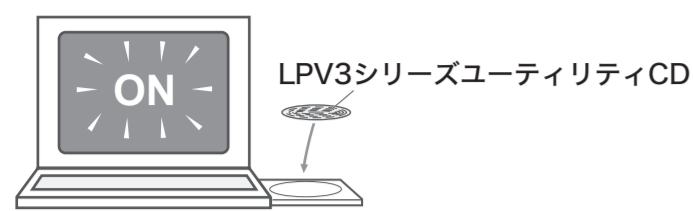
POWERランプ	USBランプ	LANランプ
点灯	点灯	点灯

※POWERランプが消灯している場合はACアダプターの接続、USBランプが消灯しているときはUSBケーブルの接続、プリンターの電源を確認してください。

裏面へつづく

❼ 添付のCD-ROM(LPV3シリーズユーティリティCD)をパソコンにセットします。しばらくすると、LPV3シリーズユーティリティが起動します。

注 意 以下の画面が表示されたら?(Windows 7/Vistaの場合)

❽
❾
❿ 「ソフトウェア使用許諾契約」画面が表示されたら、内容を確認し、同意できる場合は、[同意]をクリックします。

⓫ LPV3ダイレクト接続マネージャのインストール先を確認し、[次へ]をクリックします。

⓬
⓭ 「LPV3ダイレクト接続マネージャ」が自動的に起動し、プリントサーバーが検索されます。

プリントサーバーが検索されないときは

・ハブやルーターなどとプリントサーバーが、適切なLANケーブルで確実に接続されているか確認してください。
・ファイアウォール機能が有効になっている常駐ソフト(トレンドマイクロ社ウイルスバスターなど)のファイアウォール機能を無効にしてください。
※本紙「こんなときは」の「●セキュリティソフトウェアを終了させたい」(P.3)を参照してください。
・プリントサーバーを設定するLANアダプターのTCP/IPプロトコルを有効にしてください。
※詳細は、電子マニュアル「第4章 困ったときは」の「LPV3マネージャで検索しても、本製品が検出されない(TCP/IPプロトコルはインストール済み)」を参照してください。

⓮
メ モ
「IPアドレス」欄に"取得失敗"と表示されている場合や、ネットワーク内にDHCPサーバーが存在しない場合は、プリントサーバーのIPアドレスを設定してください。
設定方法は、右上の「プリントサーバーのIPアドレスを設定する」を参照してください。

⓯
⓰ **プリンタードライバーが再度インストールされます。**
画面にしたがい、プリンタードライバーのインストールを行ってください。
途中、プリンターのCD-ROMをパソコンにセットするように指示があった場合は、プリンターに添付されているCD-ROMをパソコンにセットして、作業を進めてください。

⓱ **プリンタードライバーのインストールが完了したあとは、テスト印刷を行います。**
Windows 7/Vistaの場合は、[スタート]－[コントロール パネル]を選択し、[(デバイスと)プリンター]をクリックします。
Windows XPの場合は、[スタート]－[コントロール パネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]－[プリンタとFAX]を選択します。
Windows 2000/NT4.0 の場合は、[スタート]－[設定]－[プリンタ]を選択します。

⓲ **インストールしたプリンターを右クリックし、[(プリンターの)プロパティ]を選択します。**

⓳ **[全般]をクリックして、[テストページの印刷]をクリックします。**
テストページが印刷されたら、印刷に必要な設定はすべて完了です。

他のネットワーク上のパソコンからプリントアウトするときは、**再度「ステップ2 セットアップしよう」**を行ってください。

プリントサーバーのIPアドレスを設定する

次の場合は、プリントサーバーにIPアドレスが設定されていません。
・「LPV3ダイレクト接続マネージャ」の「IPアドレス」欄に"取得失敗"と表示されている
・ネットワーク内にDHCPサーバーが存在しない

下記の手順で、プリントサーバーのIPアドレスを設定してください。

❶ 添付のCD-ROM(LPV3シリーズユーティリティCD)をパソコンにセットします。しばらくすると、LPV3シリーズユーティリティが起動します。
すでにCD-ROM(LPV3シリーズユーティリティCD)がパソコンにセットされているときは、一度パソコンから取り出してから、再度セットしなおしてください。

注 意 以下の画面が表示されたら?(Windows 7/Vistaの場合)

❷
❸ [次へ]をクリックします。

❹ 「ソフトウェア使用許諾契約」画面が表示されたら、内容を確認し、同意できる場合は[同意]をクリックします。

❺ LPV3マネージャのインストール先を確認し、[次へ]をクリックします。

❻ 「LPV3マネージャのインストールが完了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。

プリントサーバーが検索されないときは

・ハブやルーターなどとプリントサーバーが、適切なLANケーブルで確実に接続されているか確認してください。
・ファイアウォール機能が有効になっている常駐ソフト(トレンドマイクロ社ウイルスバスターなど)のファイアウォール機能を無効にしてください。
※本紙「こんなときは」の「●セキュリティソフトウェアを終了させたい」(P.3)を参照してください。
・プリントサーバーを設定するLANアダプターのTCP/IPプロトコルを有効にしてください。
※詳細は、電子マニュアル「第4章 困ったときは」の「LPV3マネージャで検索しても、本製品が検出されない(TCP/IPプロトコルはインストール済み)」を参照してください。

❼
❾
❿ [OK]をクリックします。

⓫ 「設定を変更します」と表示されたら、[OK]をクリックします。

⓬ 「設定が完了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。
LPV3マネージャが自動的に終了します。

以上で、プリントサーバーのIPアドレスの設定は完了です。

こんなときは

●Windows 7(32bit)/Vista(32bit)/XP/2000で、本紙の手順で印刷できない場合
⇒電子マニュアルの「第1章 Windowsで印刷する」－「1.2 LPRプロトコルで印刷する」の方法で設定をやり直してください。

●Windows 7(64bit)/Vista(64bit)/Me/98/95/NT4.0で印刷したい
⇒電子マニュアルの「第1章 Windowsで印刷する」を参照してください。

●Windowsで、NBT/LPR/NetBEUI/IPPプロトコルを使って印刷したい
⇒電子マニュアルの「第1章 Windowsで印刷する」を参照してください。

●Macintoshで印刷したい
⇒電子マニュアルの「第2章 Macintoshで印刷する」を参照してください。

●UNIXで印刷したい
⇒電子マニュアルの「第3章 UNIXで印刷する」を参照してください。

●設定/印刷で困った
⇒「ステップ2 セットアップしよう」(P.1)の手順❻を参照して、プリンターとプリントサーバーとの接続を確認してください。
⇒電子マニュアルの「第4章 困ったときは」を参照してください。

●設定画面の詳細を知りたい
⇒電子マニュアルの「第5章 付録」を参照してください。

●印刷するときやプリンターのプロパティを開くときに通信エラーが表示される
⇒LPV3ダイレクト接続マネージャを使用しない印刷方法(LPRなど)の場合、双方向通信モードでは使用できません。そのため、使用するプリンターによっては、印刷するときやプリンターのプロパティを開くときに、通信エラーが表示されることがあります。この場合は、[OK]をクリックして、操作を続けてください。印刷上の問題はありません。また、インク残量などを通知するプリンター付属のユーティリティを無効にすることで、通信エラーが表示されなくなる場合があります。

●設定内容を初期化したい
⇒本製品のINIT(出荷時設定)スイッチを3秒以上押して、初期化してください。
INITスイッチの場所は、P.4「各部の名称とはたらき」をご参照ください。

●プリントサーバーに設定したパスワードを忘れてしまった
⇒本製品のINIT(出荷時設定)スイッチを3秒以上押して、初期化してください。
INITスイッチの場所は、P.4「各部の名称とはたらき」をご参照ください。
初期化した後は、再度本製品を設定してください。
※パスワードを設定する場合は、パスワードを忘れないように必ずパスワードの控えを安全な場所に保管してください。

●セキュリティーソフトウェアを終了させたい
⇒セキュリティーソフトウェアは、次の手順で終了させてください。

例1:ウイルスバスター2010の場合
ウイルスバスター2010のパーソナルファイアウォール機能はインストール時の初期設定で「有効」の状態になっています。
パーソナルファイアウォール機能の有効/無効を変更するには以下の手順を実行します。

重 要
「パーソナルファイアウォール」を有効にすることで、ファイアウォール機能が働き、ご利用のパソコンをクラッカーの攻撃や一部のウイルス感染から保護できます。本製品の設定が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

<操作手順>
① [スタート]－[(すべての)プログラム]－[ウイルスバスター2010]－[ウイルスバスター2010を起動]を選択します。
メイン画面が表示されます。
② メイン画面左側の[パーソナルファイアウォール]をクリックします。
③
④ ファイアウォール機能が「無効」に切り替わったことを確認し、画面右上の[×]をクリックします。

以上で設定は完了です。
※元に戻すには上記手順③で、[無効]をクリックしてください。

例2:Norton Internet Security 2010の場合

重 要
Norton Internet Securityを有効にすることで、ご利用のパソコンをクラッカーの攻撃やウイルス感染から保護できます。本製品の設定が完了したら、再度Norton Internet Securityを有効にしてください。

<操作手順>
① [スタート]－[(すべての)プログラム]－[Norton Internet Security]－[Norton Internet Security]を選択します。
メイン画面が表示されます。
②
③
④ 「スマートファイアウォールがオフになりました」と表示されたら、画面右上の[×]をクリックします。

以上で設定は完了です。
※元に戻すには上記手順③で設定した時間が経過するまで待つか、手順②の画面で[オフ]をクリックしてください。

例3:ウイルスセキュリティの場合

重 要
ウイルスセキュリティを有効にすることで、ご利用のパソコンをクラッカーの攻撃やウイルス感染から保護できます。本製品の設定が完了したら、再度ウイルスセキュリティを有効にしてください。

<操作手順>
① タスクトレイの アイコンを右クリックし、[設定とお知らせ]を選択します。
② 画面左の[不正侵入を防ぐ]をクリックします。
③ [完全に開放]をクリックします。
④ 「ご確認」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。
⑤ 画面右上の[×]をクリックし、画面を閉じます。

以上で設定は完了です。
※元に戻すにはパソコンを再起動してください。